

函館市上下水道事業経営ビジョン進行管理

函館市上下水道事業経営ビジョン進行管理全体総括（令和5年度）

【平成29年度～令和3年度(当初ビジョン 前期5か年)】

経営ビジョン前期5か年につきましては、将来の水需要に基づき施設規模の見直しを図り、管路や設備の更新を進めるなど、効果的に上下水道施設の機能保全に取り組むとともに、民間事業者や道内他都市との共同訓練の実施や災害時資機材の確保など、災害対応力の向上に努めてきたところです。

また、施設の維持管理については、業務委託範囲の拡大や、民間活力の活用によるDBO方式の導入など、公民連携の推進による効率的な事業運営に向けた取り組みを進めてきました。

このほか、環境負荷の低減を図るため、省エネルギー型設備の導入や資源の有効活用に取り組むなど、経営ビジョンの目標達成に向けた施策の実施に取り組んできたところです。

このような状況を踏まえ、当初ビジョンに掲げてきた考え方を引き継ぎつつ、財政計画を中心とした「函館市上下水道事業経営ビジョン」の中間見直しを行い、今後は中間見直し後の改訂ビジョンに基づき、進行管理を行うこととしたところです。

【令和4年度～令和5年度(改訂ビジョン 後期5か年 2年目まで)】

令和5年度は、老朽施設の更新や上下水道管路の耐震化を計画どおりに実施したほか、能登半島地震の被災地へ応援職員を派遣し、避難所等への応急給水活動や民間事業者との共同による応急復旧活動を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた上下水道施設見学会を再開するなど、上下水道への理解を深める取り組みを進めました。

資源の有効活用に向けては、小水力発電や消化ガス・下水汚泥の有効活用などを実施しました。

令和5年度決算につきましては、ほぼ計画どおりであり、引き続き安定的に事業運営することができました。

基本方針および施策目標の取り組み状況（平成29年度～令和5年度）

		上段: 評価件数						下段: 割合	
基本方針および施策目標		「B」評価以上	「A」評価	「B」評価	「C」評価	「D」評価	「－」評価なし	計	
1	(1)安心できる水の確保	1	0	1	0	0	0	1	
	(2)安定取水の確保	1	0	1	0	0	0	1	
	(3)安全な水の供給	2	0	2	0	0	0	2	
	(4)水道施設機能の保全	1	0	1	0	0	0	1	
	(5)適切な給水装置管理の促進	2	0	2	0	0	0	2	
	(6)下水道の普及促進	2	0	2	0	0	0	2	
	(7)下水道施設機能の保全	2	0	2	0	0	0	2	
	(8)公共用水域の水質保全	1	0	1	0	0	0	1	
	(9)温泉の安定供給	1	0	1	0	0	0	1	
	計	13	0	13	0	0	0	13	
		100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%	
2	(1)地震対策の推進	2	0	2	0	0	0	2	
	(2)浸水対策の推進	2	0	2	0	0	0	2	
	(3)災害対応力の向上	4	2	2	0	0	0	4	
	計	8	2	6	0	0	0	8	
		100%	25%	75%	0%	0%	0%	100%	
3	(1)健全な事業経営の推進	5	0	5	0	0	0	5	
	(2)効率的な組織づくり	2	0	2	0	0	0	2	
	(3)透明性の高い事業運営	2	0	2	0	0	0	2	
	計	9	0	9	0	0	0	9	
		100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%	
4	(1)環境負荷の低減	2	0	2	0	0	0	2	
	計	2	0	2	0	0	0	2	
		100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%	
合計		32	2	30	0	0	0	32	
		100%	6%	94%	0%	0%	0%	100%	

- A：完了した・計画を上回っている

B：概ね計画どおりに進んでいる

－：評価なし
- C：計画を下回っている

D：著しく計画を下回っている